

大洋産業（三重県桑名市、影山彰久社長）は、

マンホールやネジ式弁
筐、鋳物製メーターボッ
クスなど上下水道インフ
ラ向けの資器材を手がけ
る鋳物メーカー。鋳造と
いう環境負荷に細心の注
意を払う業態から、カー
ボンニュートラル（温室
効果ガス排出量実質ゼロ）
の実現に向けて試行
錯誤を続けている。保有
する2基の高周波誘導炉
のうち1基を、2022
年に最新式へ更新。2基
目も27年までに更新し、
生産効率を高めることで
省エネルギー化を図る。

大洋産業

大洋産業は鋳造から加
工、塗装、組み立てまで
担う一貫体制が強み。原
材料を溶かす溶解工程に

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

■ 2 ■

高周波誘導炉を更新



鋳造の溶解短縮省電力に

は高周波誘導炉を導入し
ている。

炎を媒介せず電磁誘導
の現象により加熱物を直
接暖める「たい」と説明する。

最大出力は更新前の1
500キロワットから2250
キロワットに上昇した。高速加
熱が可能になり、溶解時
間は38%短縮。溶解炉単
体の電力使用量は6%減
少した。さらに炉の容量
も500キロワット増加したこ
とで、次の注湯工程に溶
湯が追いつかない「湯待
ち」の時間を大幅に削減
が目指す。

「二酸化炭素（CO₂）の電力使用実績の
うち高周波誘導炉が占め
る割合は約65%にも上
り、生産性向上につな
がった。」
（月・水曜日に掲載）

は高周波誘導炉を最新
式から溶湯
を運ぶ

【事業所概要】▽所在地 三重県桑名市安永6の18333の1、0594・22・67
92▽主要生産品目 鋳鉄鋳物製上下水道資材▽年間CO₂排出量 未算出